

第1回 防災・危機管理指令部会議（次第）

日時 令和6年8月30日（金）12時30分～

場所 災害対策本部会議室

1. 気象に関する情報（大阪管区気象台）
2. 台風による交通機関等の運休に関する情報
3. その他、各部局からの情報共有事項
4. 指示事項

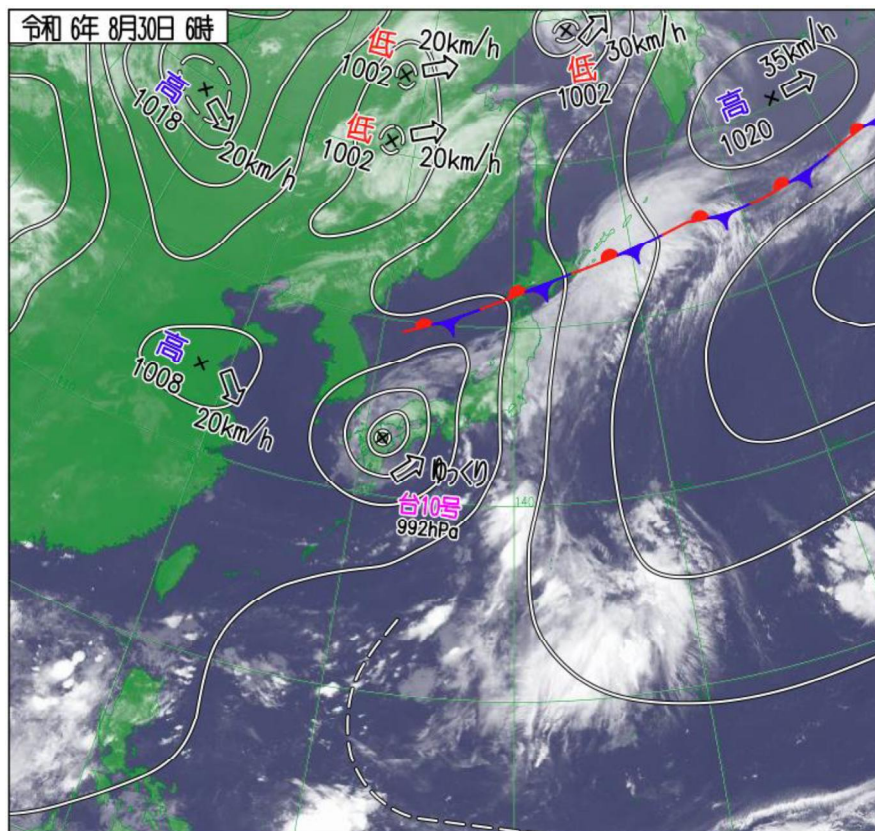
台風第10号に関する説明

大阪管区気象台気象防災部予報課

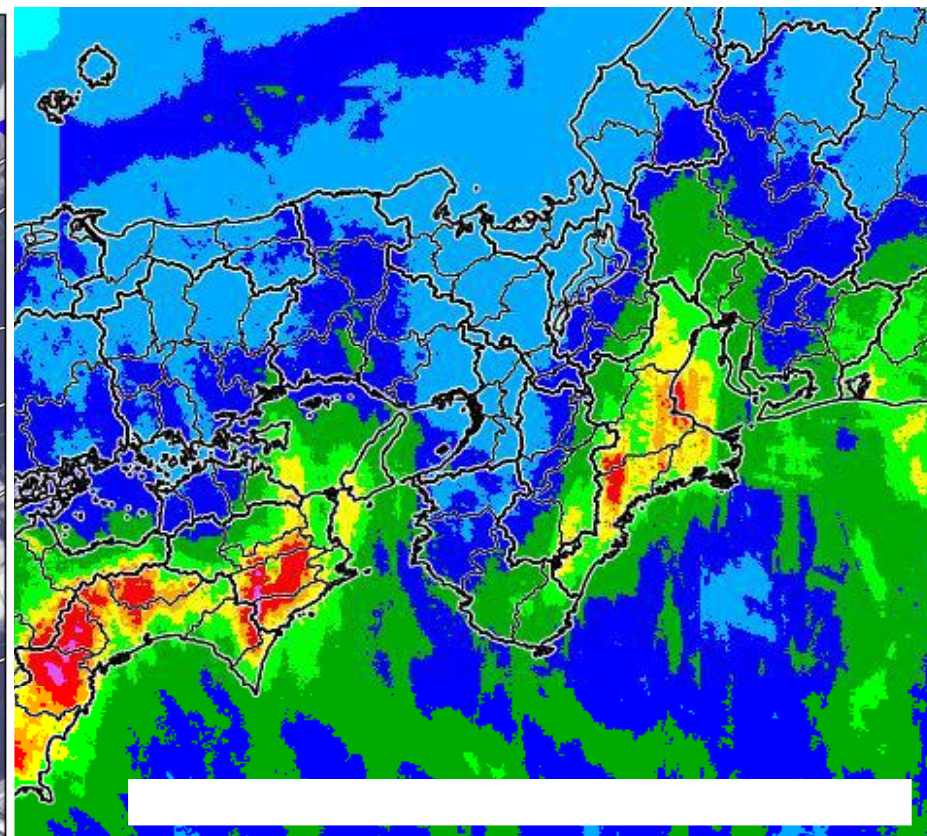
この資料は、8月30日9時時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

- ① 台風第10号（その後に変わる熱帯低気圧を含む）は、**31日午後から9月1日頃には近畿地方に接近するおそれ。**
- ② 近畿地方では、台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込むため、**30日夜から31日午前中にかけて線状降水帯が発生し、大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性がある。その後も9月1日頃にかけては台風が接近するため、近畿地方の広い範囲で大雨となる見込み。**
- ③ 近畿地方では、**31日昼前にかけてうねりを伴った高波に警戒。**

令和6年8月30日06時



令和6年8月30日09時
(解析雨量：48時間積算値)



- 台風本体や東海地方から関東地方には発達した雨雲が広がっている。

- 紀伊半島南東斜面では200から300ミリの解析雨量となっている

令和6年台風第10号の進路予想

30日9時現在



実況：30日9時
994hPa 20m/s



30日09時実況

30日09時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	国東市付近
中心位置	北緯33度35分 (33.6度) 東経131度35分 (131.6度)
進行方向、速さ	北東 ゆっくり
中心気圧	994 hPa
最大風速	20 m/s (40 kt)
最大瞬間風速	30 m/s (60 kt)
15m/s以上の強風域	全域 390 km (210 NM)

30日21時の予報

30日21時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	土佐市付近
予報円の中心	北緯33度30分 (33.5度) 東経133度10分 (133.2度)
進行方向、速さ	東 15 km/h (7 kt)
中心気圧	996 hPa
最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
予報円の半径	65 km (35 NM)

31日09時の予報

31日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	室戸市の北東約30km
予報円の中心	北緯33度30分 (33.5度) 東経134度25分 (134.4度)
進行方向、速さ	東 ゆっくり
中心気圧	996 hPa
最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
予報円の半径	95 km (50 NM)

9月1日09時の予報

01日09時の予報	
種別	熱帯低気圧
強さ	-
存在地域	天理市付近
予報円の中心	北緯34度35分 (34.6度) 東経136度00分 (136.0度)
進行方向、速さ	北東 ゆっくり
中心気圧	998 hPa

今後の気象状況 近畿地方への影響 30日 8時現在

		30日						31日								1日				2日
		6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時
		朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
台風最接近																				
大雨・洪水 (ミリ)	近畿北部	20	20	30	30	40	40	50	50	50	50	40	40	40	40					
	近畿中部	30	30	40	40	50	50	50	50	50	50	40	40	40	40					
	近畿南部	40	40	40	40	50	50	50	50	50	50	40	40	40	40					
大雨(土砂)	近畿北部																			
	近畿中部	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警					
	近畿南部																			
雷	近畿北部	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻
	近畿中部	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻
	近畿南部	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻
暴風 (メートル)	近畿北部陸上	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12					
	近畿北部海上	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15					
	近畿中部陸上	12	13	15	15	17	17	17	15	15	15	15	15	15	15					
	近畿中部海上	15	18	20	20	20	20	20	18	18	18	18	18	18	18					
	近畿南部陸上	12	13	13	13	15	15	15	13	13	13	13	13	13	13					
	近畿南部海上	15	18	18	18	20	20	20	18	18	18	18	18	18	18					
波浪 (メートル)	近畿北部	2.5	2.5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3					
	近畿中部	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4					
	近畿南部	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5					
高潮 (メートル)	近畿北部	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.4	0.5					
	近畿中部	0.6	0.6	0.8	1.1	1.6	1.6	1.6	1	0.7	0.5	0.5	0.9	0.9	1.2					
	近畿南部	0.3	0	0.8	1	0.9	0.6	0.9	0.9	0.6	0	0.7	1	0.9	0.4					

警報級 注意報級

早期注意情報[中]

風()は瞬間風速

	30日	31日
近畿北部 陸上	12(25)メートル	12(25)メートル
近畿北部 海上	15(25)メートル	15(25)メートル
近畿中部 陸上	17(30)メートル	17(30)メートル
近畿中部 海上	20(30)メートル	20(30)メートル
近畿南部 陸上	15(30)メートル	15(30)メートル
近畿南部 海上	20(30)メートル	20(30)メートル

波

	30日	31日
近畿北部	3メートル	3メートル
近畿中部	5メートル(うねり)	5メートル(うねり)

1時間降水量

	30日
近畿北部	40ミリ
近畿中部	50ミリ
近畿南部	50ミリ

1時間雨量

	31日
近畿北部	50ミリ
近畿中部	50ミリ
近畿南部	50ミリ

24時間降水量 (30日06時～31日06時)

近畿北部	120ミリ
近畿中部	180ミリ
近畿南部	200ミリ

24時間降水量 (31日06時～9月1日06時)

近畿北部	150ミリ
近畿中部	200ミリ
近畿南部	300ミリ

24時間降水量 (9月1日06時～2日06時)

近畿北部	150ミリ
近畿中部	200ミリ
近畿南部	200ミリ

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

今後の気象状況 大阪府への影響

30日10時現

		30日					31日								1日				2日				
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時				
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く									
台風最接近																							
大雨・洪水 (ミリ)	大阪府	20	30	30	30	30	40	40	40	40	40	40	40	40									
雷	大阪府	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注									
暴風 (メートル)	陸上	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13									
	海上	15	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18									
波浪 (メートル)	大阪府	1.5	1.5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2									
高潮 (メートル)	大阪府	0.1	0.6	1.1	1.2	1.2	0.9	0.9	0.6	0.2	0.2	0.8	0.9	0.8									

警報級 注意報級

いずれも多いところで

・ 1時間降水量 30日 31日
30ミリ 40ミリ

いずれも多いところで

・ 24時間降水量 (30日12時～31日12時)
150ミリ
・ 24時間降水量 (31日12時～9月1日12時)
100ミリ
・ 24時間降水量 (9月1日12時～2日12時)
100ミリ

・ 最大風速(最大瞬間風速)

30日 31日
陸上 13(25)メートル 13(25)メートル
海上 18(30)メートル 18(30)メートル

・ 波

30日 31日
2メートル 2メートル

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

早期注意情報（9月3日まで）

『警報級の可能性（明日まで）』 2024年08月30日05時

警報級の可能性（明日まで）

細分名	雨			風（風雪）			波			高潮		
	06-18	18-06	06-24	06-18	18-06	06-24	06-18	18-06	06-24	06-18	18-06	06-24
〔福井県〕嶺北	中	中	中	－	－	－	－	－	－	－	－	－
〔福井県〕嶺南	中	中	中	－	－	－	－	－	－	－	－	－
〔滋賀県〕南部	高	高	高	－	－	－						
〔滋賀県〕北部	中	中	中	－	－	－						
〔京都府〕南部	中	中	中	－	－	－						
〔京都府〕北部	中	中	中	－	－	－	－	－	－	－	－	－
〔大阪府〕大阪府	中	中	中	－	中	－	－	中	－	－	－	－
〔兵庫県〕南部	中	中	中	－	中	－	高	高	高	－	中	－
〔兵庫県〕北部	中	中	中	－	－	－	－	－	－	－	－	－
〔奈良県〕北部	中	中	中	－	－	－						
〔奈良県〕南部	中	中	中	－	－	－						
〔和歌山県〕北部	中	中	中	中	中	－	－	－	－	－	－	－
〔和歌山県〕南部	中	中	中	－	中	－	中	中	中	－	－	－
〔三重県〕北中部	高	高	高	－	－	－	－	－	中	－	－	－
〔三重県〕南部	高	高	高	－	－	－	中	中	高	－	－	－

福井県の量予想

いずれも多いところで

・ 1時間降水量	30日	31日
嶺北	30ミリ	40ミリ
嶺南	30ミリ	40ミリ

いずれも多いところで

・ 24時間降水量 (30日06時～31日06時)	
嶺北	80ミリ
嶺南	80ミリ
・ 24時間降水量 (31日06時～1日06時)	
嶺北	150ミリ
嶺南	150ミリ
・ 24時間降水量 (1日06時～2日06時)	
嶺北	200ミリ
嶺南	200ミリ

三重県の量予想

いずれも多いところで

・ 1時間降水量	30日	31日
北中部	30ミリ	50ミリ
南部	50ミリ	60ミリ

いずれも多いところで

・ 24時間降水量 (30日06時～31日06時)	
北中部	150ミリ
南部	250ミリ
・ 24時間降水量 (31日06時～1日06時)	
北中部	200ミリ
南部	400ミリ
・ 24時間降水量 (1日06時～2日06時)	
北中部	120ミリ
南部	200ミリ

- ✓ 台風第10号は今後熱帯低気圧に変わりますが、熱帯低気圧に変わっても引き続き大雨のおそれがあります。台風第10号（熱帯低気圧）が近畿地方に接近するおそれがあり、気象台が発表する警報・注意報などの最新の気象情報、キキクル（危険度分布）を普段以上にこまめに確認するとともに、市町村からの避難に関する情報等に留意してください。
- ✓ お住いの地域がどのような災害が起こりやすいかハザードマップ等で確認するなど、台風への十分な備えをお願いします。
- ✓ 近畿地方では9月1日頃にかけて、台風第10号（熱帯低気圧）の影響で交通機関が大きく乱れる可能性があります。イベントや遠出の予定のある方は、予定を変更するなど、交通機関からの情報に留意してください。また山や海などのレジャーなどにおいても気象情報や交通情報に留意してください。

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>
- キキクル(危険度分布)（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上に表示）
 - 土砂キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>
 - 浸水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>
 - 洪水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>
- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>
- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>
- 最新の気象データ（雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>
<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>
- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

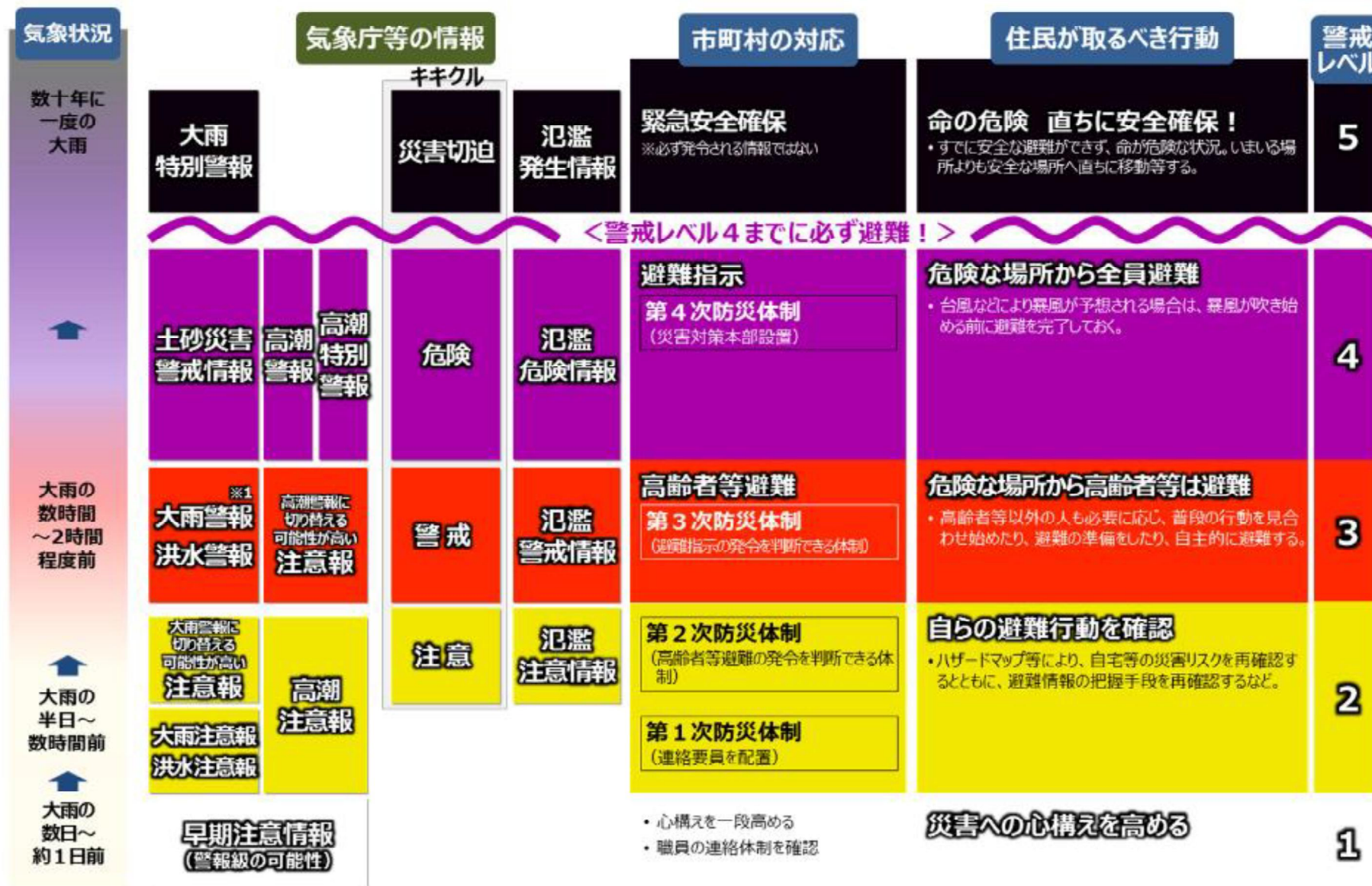


気象庁HPのバナーをご利用ください。

@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

参考資料：5段階の警戒レベルと防災気象情報



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき
気象庁において作成

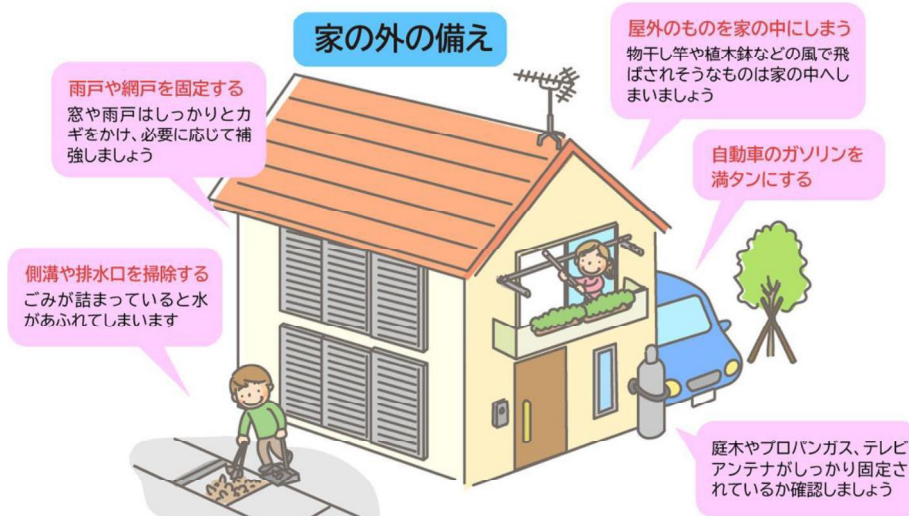
(参考) 暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		〇〇日							〇〇日			
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)											
	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10		
	海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10	以後も注意報級	

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル



平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	およその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				

35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

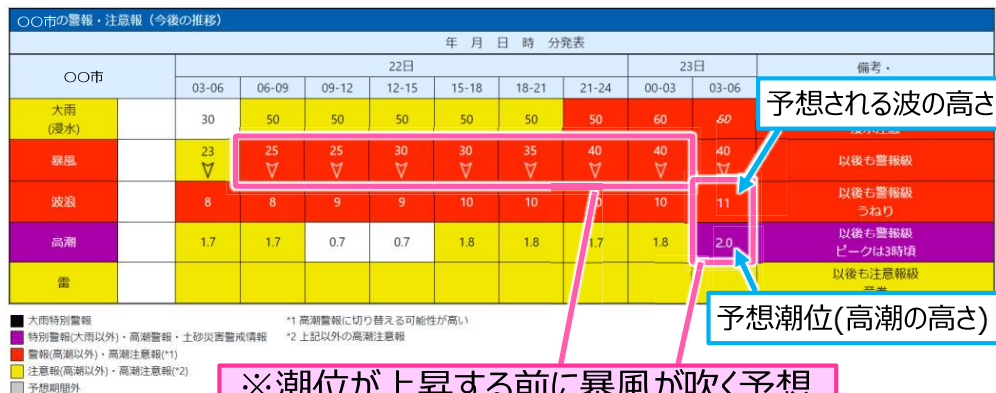
※ 内閣府政府広報オンラインより。

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

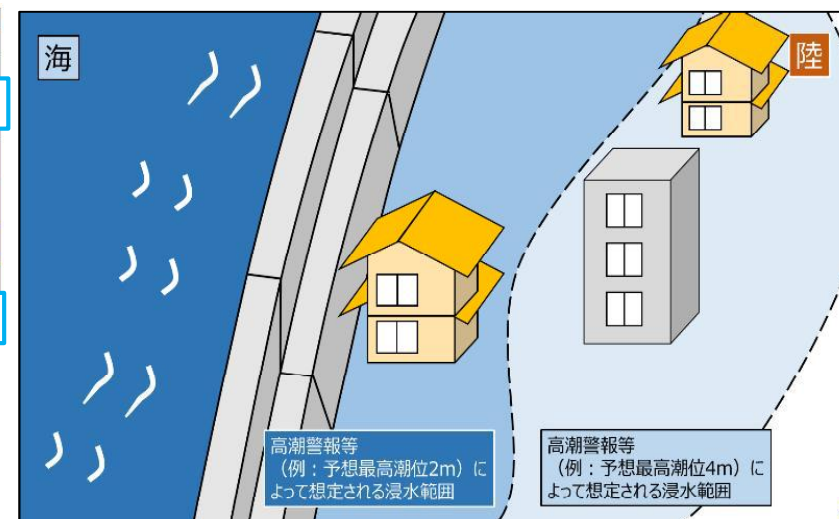
(参考) 高波・高潮による災害への備

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認



高潮時に浸水のおそれがある区域

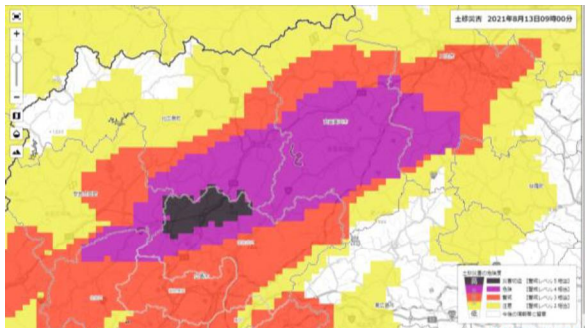


高波や高潮による災害の事例



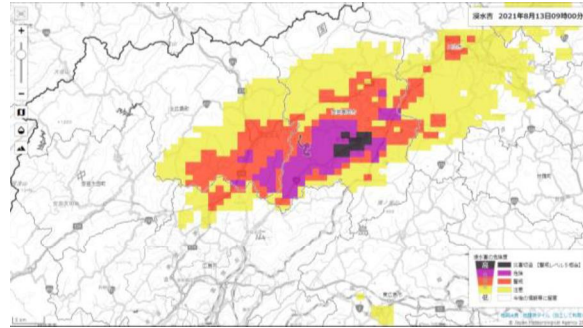
土砂キキクル

大雨警報（土砂災害）の危険度分布



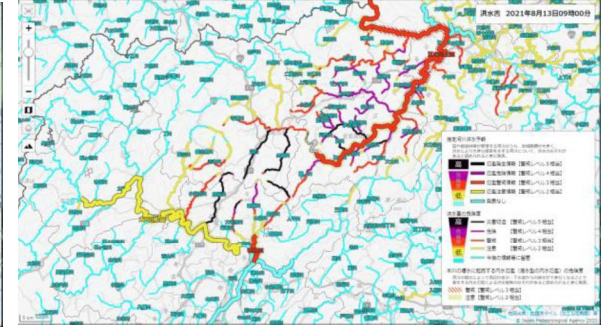
浸水キキクル

大雨警報（浸水害）の危険度分布



洪水キキクル

洪水警報の危険度分布



**「紫」が出現した段階で
速やかに安全な場所に避難する判断を**

「キキクル」の「**災害切迫（黒）**」は、大雨による災害が**すでに発生**している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「**黒**」を待つことなく、「**紫**」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

参考資料：キキクルの危険度の高まりを見逃さないように

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ENGLISH Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

気象庁防災情報 Twitter 気象庁 Twitter 気象庁 知識・解説 気象庁 YouTube Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

コンテンツの閲覧方法について（よくお寄せいただく質問） **ここをクリック**

防災情報 天気 **キキクル（危険度分布）** 大雨・台風 地震・火山 被災地域等への支援情報

または、このバナーをクリック

この雨大丈夫？そんな時 **キキクル** 大雨・洪水警報の危険度分布

火山登山者向けの情報提供ページ

津波から身を守るために **津波フラッグ** 海岸付近でこの津波フラッグを見たらすぐに避難

キキクルが表示

トップページのバナーをタップ

土砂災害 浸水害 洪水 ハザードマップと重ね合わせ

他の災害の危険度を確認できる
ハザードマップと重ね合わせできる

参考資料：風の強さ

風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さと吹き方(pdf)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						60

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。

参考資料：雨の強さ

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる			

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

参考資料：台風の大きさと強さ

台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

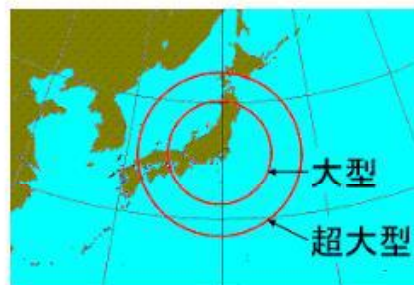
強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下ようになります。

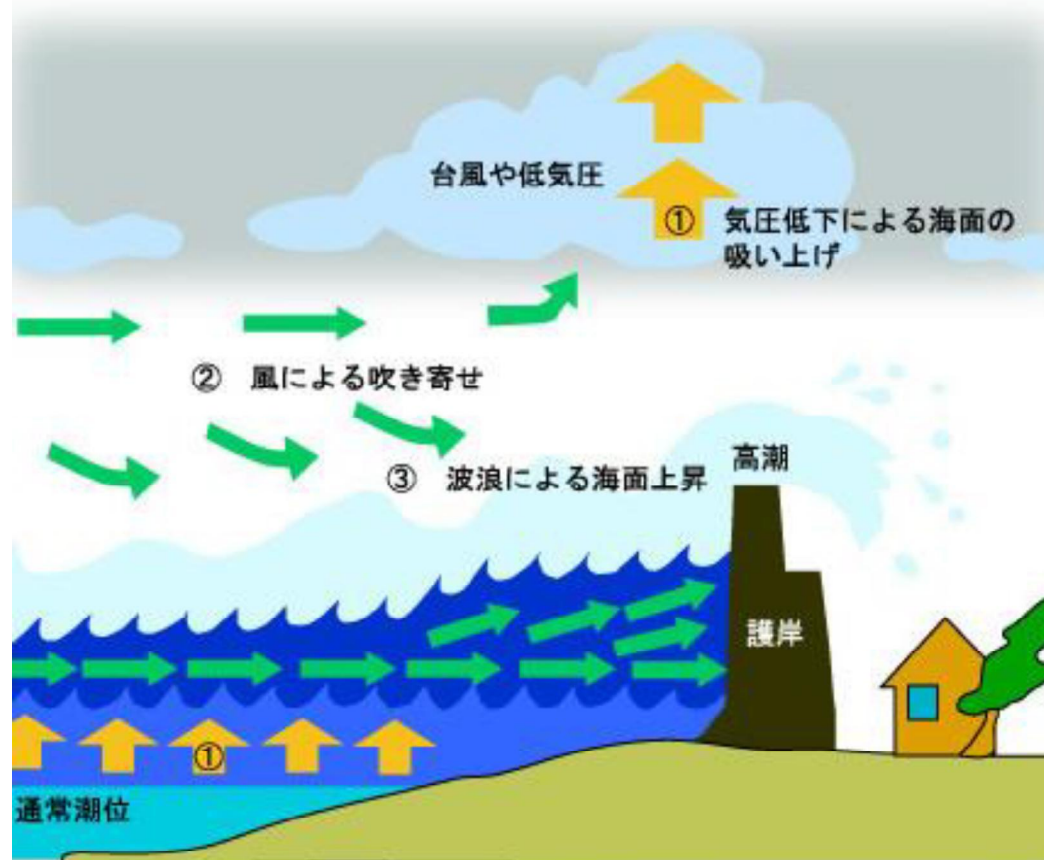


台風により、

- ①気圧低下により海面の上昇
- ②風による吹き寄せ
- ③波浪による海面の上昇

の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。

特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、特にV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます



天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		夜
18:00～21:00	夜のはじめ頃		
21:00～24:00	夜遅く		

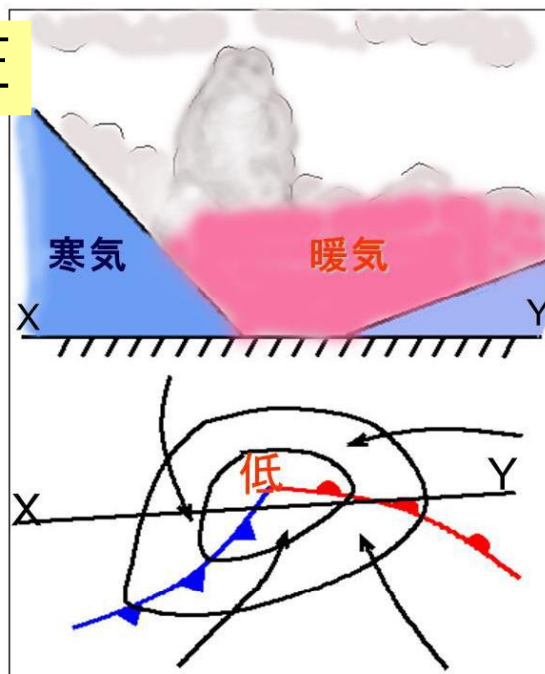
参考資料：台風と熱帯低気圧の違い

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ**低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。**

参考資料：台風と温帯低気圧の違い

温帯低気圧

寒気・暖気の
温度差をエネ
ルギーに発
生・発達



X-Yの
線で
切った
断面図

上から
見た図

熱帯低気圧

熱帯の大量
の暖かく
湿った空気
をエネル
ギーに発
生・発

